

・海外感染症流行情報 2019 年 5 月号**(1) 全世界：世界各地で麻疹が流行**

日本では今年、麻疹患者が増加しており、5 月中旬までに患者数が 486 人になりました（国立感染症研究所 2019-5-15）。昨年の年間患者数は 202 人で、最近 6 年間では最も多い患者数になります。こうした麻疹患者の増加は世界各地でおきています。アジアではフィリピンで患者が急増しており、今年 4 月末までに患者数が 3 万 3000 人と昨年の 1.5 倍になりました（ProMED 2019-5-16）。これ以外にも中国、マレーシアなどで患者数の増加がみられます（WHO Outbreak news 2019-5-7）。

ヨーロッパでは今年の 2 月までの患者数が 3 万 4000 人で、2018 年の年間 5 万人、2017 年の年間 2 万 5000 人に比べて大幅に増えています（WHO Outbreak news 2019-5-7）。とくにウクライナでは 2 月末までに患者数が 2 万 5000 人にのぼっています。フランスでも今年 600 人以上と増加傾向にあります（ヨーロッパ CDC 2019-5-10）。

米国でも今年麻疹患者が増加しており、5 月中旬までの患者数が 880 人になりました（米国 CDC 2019-5-12）。これは 1994 年以来最大の流行です。患者発生は全米各地でみられていますが、ニューヨーク市では患者数が 500 人近くにのぼる集団発生がおきています。

日本では現在 30 歳代～40 歳代の世代で麻疹の免疫が低下しているため、この年齢の人が海外に滞在する際には麻疹ワクチンの接種を受けておくことを推奨します。

(2) アジア：シンガポールでサル痘の患者が発生

シンガポールで 5 月 9 日にサル痘の患者が確認されました（WHO Outbreak news 2019-5-16）。この患者はナイジェリアからの旅行者で、仕事でシンガポールを訪問していました。4 月 30 日から発熱などの症状がおこり、5 月 7 日に同地の病院で診断されています。患者の症状はその後、改善している模様です。接触者の調査も行われていますが、今のところ感染者は見つかっていません。サル痘は天然痘ウイルスに近縁のウイルスでおこる感染症で、サルに天然痘類似の症状をおこします。ヒトが病気のサルに接触して感染することもあり、2017 年からナイジェリアでは 300 人近い患者が発生しました。ヒトの患者は発熱や発疹などをおこし、致死率は 1～10%とされています。ヒトからヒトへの感染は稀ですが、患者の飛沫などで感染することがあります。

(3) アジア：アジアでデング熱患者が増加

今年アジア各地でデング熱の患者数が増加しています。4 月末までにマレーシアの患者数は 4 万 3000 人、フィリピンは 6 万 7000 人でいずれも昨年の 2 倍、ベトナムは 5 万 7000 人で昨年の 3 倍になっています（WHO 西太平洋 2019-5-9）。台湾では台南市を中心に 5 月上旬までに約 2000 人の患者が確認されました（ProMED 2019-5-12）。南アジアのスリランカでもコロポを中心にして 1 万 5000 人の患者が発生しています（ProMED 2019-5-12）。アジア各地は 6 月以降に雨季を迎えるため、デング熱の患者数はさらに増加することが予想されます。旅行や仕事で滞在する際には、蚊に刺されない注意を心がけてください。

(4) 中東：サウジアラビアで MERS の集団感染発生

サウジアラビア南部のワディ・アド・ダワシル（Wadi Aldwasir）市で、今年 1 月、現地の病院を中心に中東呼吸器症候群（MERS）の集団感染がおきました（WHO Outbreak news 2019-4-24）。3 月末までに患者数は 61 人（うち 8 人死亡）にのぼり、このうち 37 人が病院内で感染した模様です。4 月に入り、同市での患者発生はなくなりましたが、サウジアラビア全土では 4 月に 29 人の患者が確認されています（WHO Outbreak news 2019-5-22）。2012 年に中東で MERS の流行がおきてから、全世界で 2428 人の患者が確認されていますが、このうち 2037 人がサウジアラビアで発生した患者です。

(5) アフリカ：コンゴ民主共和国でのエボラ流行状況

コンゴ民主共和国の北東部で発生しているエボラ熱の患者数は、5 月に入り増加傾向にあります（WHO Outbreak news 2019-5-16）。最近 1 か月で患者数は 400 人以上増加し、5 月中旬までの累積患者数は 1739 人になりました。このうち 1147 人が死亡しています（致死率 66%）。今回の流行は治安状態が悪い地域でおきており、国際機関や現地政府による対策が実施されにくい状況にあります。また、この地域はウガンダやルワンダと国境を接しており、周辺国への流行波及にも注意を要します。